10歳代　男
診断名：腰椎分離症

症状：走ったり腰を反る動作で腰に痛みがある。

目標：腰の痛み無く運動がしたい。

状態：左腰部に痛みを感じており、特に腰を反る
ような動作での痛みが強い状態でした。
また、股関節の柔軟性が非常に乏しかったです。

正常なレントゲン画像

本疾患のレントゲン画像

治療：痛みが出現している付近の筋リラクセーション、
股関節柔軟性改善のためのストレッチング
指導を行いました。

結果：理学療法介入15週後に運動中での痛みは無くなりました。

コメント：腰椎分離症は、腰椎の上・下関節突起に起こる疲労骨折です。
そのため、骨折部の治癒が最重要となり今回のケースもコルセットの
使用により約8週間ほどの運動の制限を設けました。その期間に
骨折部周囲の組織が固まらないようリラクセーションを行いながら、
股関節の柔軟性を改善し再発予防に努めました。

※ご本人の許可を得て作成しています